地域で支えよう！ みんなの町

５月16日、「在宅福祉アドバイザー・民生委員・地区社会福祉協議会長（館長）合同研修会」が、薩摩農村環境改善センターで開催されました。

在宅福祉アドバイザー２３２人の方々は、町長から「平成18年度在宅福祉アドバイザーの証」の交付を受けられた後、高齢者の在宅福祉制度・近隣保健福祉ネットワーク事業・介護予防・介護保険制度及び障害者福祉制度などについて研修されました。

また、屋地区の長渡芳子氏による活動を通しての事例発表も行われました。

地域では、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦だけの世帯、ひとりでは生活の困難な心身の不自由な方など援助を必要とする方々が増えています。

これまでも援助を必要とする方々に対しては、お互いに助け合い支え合ってきましたが、この研修を通じて、更に地域の方々が協力して、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていけるよう地域ぐるみで助け合う見守り体制の構築と事業推進に期待が寄せられます。

中津川小５年生 山太郎ガニを放流

早く大きくなってね!!

５月19日、中津川区内を流れる南方川で、中津川小５年生９人が山太郎ガニ（もくずガニ）の放流を行いました。

川内川漁協薩摩支部の久木元真一郎さんは「夏になればカニも大きくなっています。川遊びやカニ取りなどをしてください」とあいさつされました。

児童は、なかなか見る機会のない山太郎ガニに興味津々の様子で、バケツに小分けされた約５，０００匹を「早く大きくなって」と言いながら放流しました。

さつま町和牛振興大会

５月20日、第１回さつま町和牛振興大会が薩摩中央家畜市場で盛大に開催されました。

当日は、会員約６００人が参加し、高齢化による農家戸数の減少に対する組織の強化、増頭運動の推進、優良牛の産地「さつま」の確立などを目指した大会スローガンが採択され、求名畜産振興会の淵脇利夫さんの肉用牛経営に関する事例発表、北薩農業共済組合の小野獣医師による研修が行われました。

また、元漫才師の春日三球さんによる記念講演も行われ、軽妙な話術による笑いの中、ひとときの楽しい時を過ごされました。

宮原和子氏 法務大臣から感謝状

５月30日、東京都で開催された「第43回日本更生保護女性の集い」において、法務大臣からさつま町更生保護女性会会長の宮原和子さんへ感謝状が贈呈されました。

これは、宮原さんが長年、更生保護女性会会員として、女性の立場から地域の犯罪予防と犯罪や非行に陥った人たちの更生に協力し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に寄与された功績に対して贈られたものです。